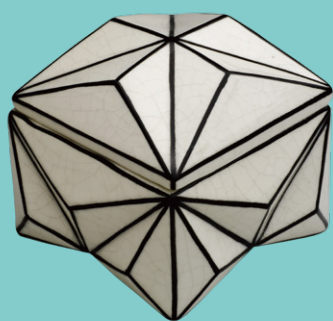


プレスリリース PRESS RELEASE

チェコ・ デザイン 100年の旅



100
Years of
Czech
Design

2019年

9月14日 sat — 11月10日 sun

開館時間：午前10時－午後6時(入場は午後5時30分まで)
一般：1,100(900)円、65歳以上：900(700)円、大高生：800(600)円、
中小生：500(300)円 ※()内は20名以上の団体料金、障害者割引あり。※リピーター
割引/会期中、本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金でご覧いただけます。
主催：世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)、チェコ国立ブラハ工芸美術館
後援：チェコ共和国大使館、チェコセンター東京、世田谷区、世田谷区教育委員会
協賛：ルフトハンザカーゴAG 助成：公益財団法人 野村財団(申請中)
企画協力：株式会社イデッパ

休館日：毎週月曜日

ただし9月16日(月・祝)、23日(月・祝)、10月14日(月・祝)、11月4日(月・祝)は開館。
翌火曜日(9月17日、9月24日、10月15日、11月5日)は休館。

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM



Lufthansa Cargo

チェコ国立ブラハ工芸美術館蔵



u(p)m

チェコ・デザイン 100年の旅 100 Years of Czech Design

アルフォンス・ミュシャから現代のデザインまで、
チェコの100年にわたるデザイン史を日本で初めて総合的に紹介

ヨーロッパのほぼ中心に位置し、古くから様々な文化が交錯する舞台となってきたチェコ。ボヘミアン・グラスや「ロボット」という言葉を生んだカレル・チャペック、もぐらのクルテクやアニメーションなどは日本でもよく知られています。旅情をかき立てる古都プラハ。人々の心を惹き付けるレトロ可愛い雑貨。人によって様々なイメージを喚起させるチェコの、独立前夜から現代までの約100年にわたるデザインを、主にチェコ国立プラハ工芸美術館の収蔵品から、家具や食器、装丁本、ポスターなど、チェコにおける主要なデザイナーの作品を中心に、時代を追った8つの章とおもちゃとアニメーション原画の2つの章による約250点でご紹介します。時代の波をかいぐり、人々の生活を豊かにしてきたチェコ・デザインの魅力をご堪能いただければ幸いです。

【展示構成】

第2章

1910-14年：チェコ・キュビズム 幾何学的形態からキュビズムへ

20世紀絵画における革命であるキュビズムは、チェコでは絵画や彫刻だけでなく、建築や家具・インテリア、日用品などに及び、それらの分野で一層発展しました。三次元におけるキュビズムの展開は、ヨーロッパにおいて他に類を見ず、1911年から14年までの作品はチェコ特有のものとなっています。



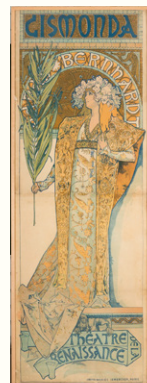
2. グラスチスラフ・ホフマン 椅子(彫刻家ヨゼフ・マジャツカ邸食堂用) 1911-12年 3. パヴェル・ヤナーク クリスタル(結晶)型小物入れ 1911年

第1章

1900年：アール・ヌーヴォー 生命力と自然のかたち

19世紀末から20世紀初頭にかけて広く流行したヨーロッパのアール・ヌーヴォー。それは建築と工芸に全く新しい様式をもたらし、自然界の活力の表現と、自然からの着想によるモチーフが、当時の若々しい熱狂と合致し、様々な商品、建築、インテリア、ファッション、本の装丁、広告に幅広く用いられました。チェコのアール・ヌーヴォー様式の椅子やガラス器、当時並外れた人気を博したアルフォンス・ミュシャ（チェコ語でムハ）の作品を中心に紹介します。

1. アルフォンス・ミュシャ 《ジスモンダ》 1894年



1

第3章

1920年代：アール・デコの時代

第1次世界大戦終結に伴い、1918年に独立宣言を行ったチェコスロヴァキアのアール・デコ作品は、1925年にパリで開催された現代装飾美術・産業美術国際博覧会(通称アール・デコ博)への出展により大きな成功を収めました。幾何学的形態と抽象的単純化を民族的要素と結びつけたチェコのアール・デコの装飾は、あらゆる種類の工芸品や既成の工業製品に至るまで広く用いられ、織物や高価な革製本、カットガラスなどに伝統工芸の技術が復興しました。この博覧会でチェコ人は初めて独立国として展示を行い、フランスに次いで最も多くのメダルを獲得しました。



4



5

4. ヨゼフ・アイゼルト 蓋付ガラス容器 1923年 5. オタカル・オンドラーチェク 革製本 1925年

第4章

1930年代：シンプルなかたちと機能性

機能主義の理念は、主にアドルフ・ロース、ル・コルビュジエなどのピュリスムやドイツのパウハウスの作品群に由来するものですが、これは次第に工業化されてきた世界に暮らす人々が求める物質的、文化的問題に対する包括的な観点に基づくものでした。チェコスロヴァキアにおいて、機能主義の原則を実現するための起点となったのは、「美しい部屋」(クラスナー・イズバ)でした。この組織は、住居に関する必需品を販売生産し、住宅建築コンサルタントを通して啓蒙活動を行っていました。1929年以降「美しい部屋」のアートディレクターを務めたデザイナー、ラジスラフ・ストナルは、近代デザインを代表するひとりとして国際的評価を得ました。



6



7

6. ラジスラフ・ジャーク(椅子デザイン)、アントニン・キバル(布地) 肘掛椅子《シエスタ》 1930年 7. ラジスラフ・ストナル、カヴァリエル・ガラス工房 耐熱ガラスのティーセット 1931年

第5章

1940年代：有機的フォルムと天然素材

ナチス・ドイツによりボヘミア・モラヴィア保護領となった1939年以降、1940年代前半の戦中期は、伝統工業地域であった国境地帯が占領されたこともあり、生産活動も沈滞しました。本章ではそのような状況下、土地に根差した素材を用い、民族的装飾の復活を背景に、創意工夫により生みだされた作品を紹介します。



8

8. ラジスラフ・バルトニーチェク スツール 1946年

第 6 章

1950-60年代：日常生活と応用美術の解放

1948年の共産党クーデター後、1950年代前半は民族的モチーフを下敷きにした社会主義リアリズムが奨励されましたが、1950年代後半には表現に対する規制もゆるやかになっていきました。1958年に開催されたブリュッセル万国博覧会への参加と成功がもたらした「ブリュッセル・スタイル」と呼ばれる様式は、当時の多様で自由な芸術表現からインスピレーションを得るとともに、宇宙時代の幕開けに相応しいスピード感溢れる軽快で流れるような線や形が多用されました。また、プラスチック素材の進化も、デザインの新しい可能性を広げていきました。



9



10



11

9. ミロスラフ・ナヴラーテル《シェルチェア》1959年 10. ヤロスラフ・フランチシェク・コフ、チェスカー・ズプロヨフカストラコニツェ工場 チェゼタ・スクーター「501型」1957年 11. オルガ・ヴィレチャロヴァー＝ボラーチュコヴァー 映画ポスター「やさしい女」1970年

第 8 章

1990年から現代まで：自由化と機能の再発見

1989年のビロード革命による民主主義国家への復帰は、デザイン分野でも多くの影響を及ぼしました。国営企業は民営化され、西側諸国から自由にデザインの情報ももたらされました。亡命先から多くのデザイナーが帰国し、独立したデザイン・スタジオも設立されました。90年代になると、これまでは選択肢のひとつに過ぎなかったポストモダンが、新たな民主主義体制を代表する様式になっていき、次第にネオモダニズム(新機能主義)に置き換えられ、そこにはチェコ・デザインの特異性や30年代の機能主義の再現が見られました。2000年頃になるとデザインの社会的責任や意義への認識が高まりを見せ、最先端のデザインを俯瞰する「デザインブロック」が毎年開催され、2006年からは各分野の年間賞も設けられるようになりました。

第 7 章

1970-80年代：生活水準の見直しからポストモダンへ

1968年のワルシャワ条約機構軍の侵攻によって終焉を余儀なくされた1960年代の知的で創造的な高まりは、1970年の大阪万国博覧会あたりまではその余韻を残していました。70年代は対外的な製品と国内向けの製品に二分されるようになりました。商品の形状やグラフィックは許容できるレベルを維持していましたが、多くの製品は技術面および科学技術面で後れをとっていました。80年代になるとデザイン分野、とりわけ家具デザインの分野でポストモダンの傾向が表れ始めます。

12. ラジスラヴァ・ヴィーズネロヴァー 二連の指輪 1975年
13. ミラン・クニージャーク 椅子《コキューブ》1971年(原案)、1985年(制作)



12



13



14



15

14. ラジム・ババーク、ヤン・トゥシェク ランプ《PUR》1998年 15. ジェリー・コザ 多機能椅子《でんぐり返し》2002年

第 9 章

チェコのおもちゃと子どものためのアート

チェコのおもちゃ作りの伝統は古く、チェコの美術工芸において今日まで重要な地位を占めてきました。一般民衆の素朴な手作り玩具に起源をもつおもちゃが、時代の変遷と共に、テーマに変化を見せつつも、普遍的なチェコらしさを体現している姿を紹介します。また、60年代、70年代には、新しい素材からも、優れたデザイナーの手でチェコ特有の愛らしいおもちゃが生みだされ、今日でもチェコ・デザインを代表するものとなっています。

16. グァーツラフ・シュパーラ、アルチェル協同組合《童話の鳥》1920年 17. グァーツラフ・シュパーラ 小箱《悪魔》1921年
18. リプシェ・ニコロヴァー、ファトラ社《ライオンのアコーディオン》《ネコのアコーディオン》《キツネのアコーディオン》1964年



17



16



18

【テーマ展示】

第 10 章 チェコ・アニメーション

戦前から現代に至るチェコ・アニメーションは、絵本とともにチェコ文化を代表するひとつの創作領域になっています。戦前初めて本格的なアニメーションに取り組んだカレル・ドダル、モラヴィアのズリーンでパベット・アニメーションを制作したヘルミーナ・ティールロヴァーとカレル・ゼマン、戦後パベット・アニメーションで、チェコ・アニメーションの名を世界に知らしめたイジー・トゥルンカ、さらに1965年から始まった子供向けTVアニメーション「ヴェチュルニー・チェック（おやすみアニメ）」も忘れてはならないでしょう。ズデニェク・ミレルの「もぐらのクルテク」やオングジェイ・セコラによる「ありのフェルダ」は日本でもよく知られています。

no.10,18 個人蔵 その他 チェコ国立プラハ工芸美術館蔵
Collection of The Museum of Decorative Arts in Prague

講演会

「チェコ・アヴァンギャルドのデザイン」

日時：9月22日(日) 14:00-15:30(開場は13:30)

講師：井口 壽乃(埼玉大学副学長)

「ミュシャからもぐらのクルテクまで」(世田谷美術館友の会共催事業)

日時：9月28日(土) 14:00-15:30(開場は13:30)

講師：遠藤 望(当館学芸員)

「チェコスロヴァキア戦後デザインの葛藤」

日時：10月14日(月・祝) 14:00-15:30(開場は13:30)

講師：ベトル・ホリー(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

※いずれも会場：当館講堂 定員：140名／入場無料

当日12:00よりエントランス・ホールにて整理券を配布 手話通訳付

チェコ・アニメーション上映会 「盗まれた飛行船」

監督：カレル・ゼマン

日時：10月6日(日) 13:30～(約90分)

会場：当館講堂

定員：140名(入場無料ただし展覧会半券をご提示ください)

詳細はホームページにて

協力(株)イデッパ

子どもとおでかけ美術館 「チェコにまつわる おはなし会」(仮称)

◆ 日時：10月26日(土) 11:00～

出演：「大きな花輪」

定員：40名程度

対象：幼児から～小学校低学年

◆ 日時：11月2日(土) 15:00～

作・出演：「ひつじ会」

定員：40名程度

対象：小学校低学年から高学年向け

※いずれも会場：2F 講義室

学芸員による短い展覧会紹介含め 30分程度

参加費：無料 申込：当日直接会場にて

100円ワークショップ

子供から大人まで、どなたでもその場で
気軽に参加できる本展にちなんだ工作など。

日時：会期中毎週土曜日(13:00-15:00)

会場：地下創作室

参加費：1回100円

人形劇『Zlatovláska - きんいろの髪のお姫さま』

(演出 Zoja Mikotová)



日時：11月3日(日・祝)

① 11:00-12:00

② 15:00-16:00(終了後トークショー)

企画・構成・美術：林由未

企画・構成・出演：谷口直子

会場：当館講堂

定員：100名

(入場無料ただし展覧会半券をご提示ください)

申込：往復はがきにて申込

(申込み多数の場合は抽選)

申込締切：10月3日(木) 必着(当日消印有効)

詳細はホームページにて

【お問合せ先】

【展覧会のご案内】

TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2

TEL: 03-3415-6011 (代表)

FAX: 03-3415-6413

【同時開催】ミュージアム コレクション

森芳雄と仲間たち

2019年8月3日(土) - 11月24日(日)

小コーナーでは駒井哲郎のモノタイプ作品を展示

【次回企画展】

奈良原 一高のスペイン-約束の旅-

2019年11月23日(土・祝) - 2020年1月26日(日)

【交通案内】

◆ 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から
徒歩17分、または美術館行バス「美術館」
下車徒歩3分

◆ 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から
渋谷駅行バス「砧町」下車徒歩10分

◆ 小田急線「千歳船橋」駅下車、田園調布駅
行バス「美術館入口」下車徒歩5分

◆ 来館者専用駐車場(無料、60台)：東名高
速道路高架下、厚木方面側道400m先。
美術館まで徒歩5分

